



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長 | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト | 飯田 泰之 |
| ● 副会長 | 伊東 英紀 | ● 副会長 | 山本 登 |
| ● 幹事 | 天野 公史 | ● 副幹事 | 西山 潔 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男 |
| ● 副 S A A | 横溝 亘 | ● クラブ会報 | 小山市 康 |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2011-2012年度 第18号週報 No. 1717 2011年(平成23年)11月11日 第1717回例会記録 11月18日発行

司会 西山 潔 副幹事

誕生日祝 富居 利貞 会員 (11月3日)

点鐘 加藤 仁昭 会長

斉唱 「我等の生業」



ロータリーの綱領 小池 将夫 会員 (第1例会のみ)

四つのテスト 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介 天木 直人 様 (ゲストスピーカー)
青木 邦弘 様 (IMキャラバン隊)
五十嵐 正 様 (IMキャラバン隊)

ビジター紹介 横浜鶴見北RC 石渡 宏衛 様

本日〈11月18日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「それでこそロータリー」
- ◆ 献立 海老カレー
- ◆ 卓話 「日本とネパールの架け橋を目指して」
米山奨学生 エンダ・バスネット 様
(紹介者 地区米山奨学委員長 倉知 恒久 様)

結婚記念日祝

横溝 亘 会員 (11月4日)
富居 利貞 会員 (11月8日)
川邊 正男 会員 (11月17日)



・地区より地区大会のお礼状が届いておりますのでご報告致します。

幹事報告

天野 公史 幹事

- ・本日、例会終了後に11月度定例理事会がございます。
- ・次週、例会終了後に第2回クラブ協議会を開催致します。レポート提出がまだの委員長の方、至急事務局まで提出をお願い致します。

出席報告

金森 欣一 出席委員長

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	50名	(37+13)名	
出席率	94.34%		
ゲスト	3名	ビジター	1名
前回補正後	88.68%	前々回補正後	96.30%

会長報告

加藤 仁昭 会長

・地区大会の報告と表彰 出席会員数 28名



長寿会員表彰 岩澤利雄会員、山木幹夫会員

スマイルボックス

横溝 亘 副SAA

横浜鶴見北RC 石渡宏衛様 先日の地区大会では神奈川東RCの皆様には案内係をお手伝い頂き、誠にありがとうございました。

横浜旭RC 青木邦弘様 IMのお願いに参りました。

富居利貞君 誕生祝い74歳、結婚祝い48回。どうもありがとうございます。

横溝 亘君 結婚祝い、ありがとうございます！！あつという間の31年です。

川邊正男君 結婚祝い、ありがとうございました。42回目となります。

加藤仁昭君 ①地区大会参加の皆様、ご苦勞様でした。②本日の卓話、天木様、よろしくお願ひします。楽しみにしております。

山本 登君 寒くなりました。風邪→肺炎になる年齢ですネ。ご注意。

河野明光君 横浜鶴見北RCの石渡さん、本日はようこそ。地区大会ではご苦勞様でした。

天野公史君 ①地区大会出席の皆様、大変お疲れ様でした。また、場所を変えての神奈川東RCの親睦大会、ありがとうございました。本大会より充実していたのかな？

江森国一君 2011年11月11日11時11分11秒、皆さん何をしていたか？同じ一瞬は二度と来ないことを実感しました。

雨宮和則君 お久しぶりです。

脇田いずゞさん 寒いですが！若いのにババシャツ着ました？

茂木知子さん ~自覚を持って~横浜山会員のオスネコ、同居のメスネコの発情に触発され、一日中叫び声をあげて家を徘徊し、去勢手術を受けさせられました。しかし、退院しても自覚がないのか、メスに盛んに挑んでいるそうです。

山本芳弘君 本日、世界チャンピオン誕生を祝う会ご出席の皆様、よろしくお願ひ致します。18:30ですのでお間違えなく！

・R財団より横溝会員に認証状が届いておりますので贈呈します。



11月11日	14件	61,000円
本年度累計		855,778円

卓 話

「今後の日本外交について」

元レバノン特命全権大使、作家、天木 直人 様
(紹介者 田口健太郎 会員)



神奈川県ロータリークラブの皆様はじめまして。本日は加藤会長・伊東副会長・天野幹事・田口プログラム委員長、お招きを頂きありがとうございます。まず自己紹介を兼ねて日米同盟の実態についてお話したいと思います。

私がレバノンに特命全権大使として赴任した半年後の2001年9月に9.11が起きました。そしてアメリカが10月にアフガンを攻撃し本格的なテロとの戦いに入り、2003年にイラク攻撃が始まりました。私はレバノンでアメリカの中東政策を2年半見てきました。そしてその誤りに気づきました。イスラエルという国のパレスチナ弾圧政策を支持し、そのイスラエルがアラブの抵抗から攻撃される事を防ぐためにあらゆる努力をする、一言でいえばこれが米国の中東政策です。アメリカのイラク攻撃もそのために行ったのです。

私はこのロータリークラブの集まりに来て、ロータリークラブの4つのテストを知りました。真実かどうか？みんなに公平か？好意と友情を深めて共生・共存するか？そしてその行為がみんなのためになるか？この4つのテストに照らし、アメリカの攻撃はまったく容認できない不正義な攻撃だったのです。

当時レバノンでは皆が言っていました。アメリカはサダム・フセインを殺すことは簡単でもイラクに平和をもたらすことはできない、それどころか、最悪の事態は世界中を混乱におとし入れることになるだろう、と。パレスチナを弾圧するイスラエルを一方的に支持する米国には中東に平和をもたらすことはできないと皆が口をそろえて言っていました。

私はそのような情報を毎日のように東京に送って、米国のイラク攻撃に反対すべきだ、たとえ米国のイラク攻撃を止めることができなくても、少なくとも日本はあの戦争からは距離を置くべきだ、間違ってもアメリカのイラク攻撃を支持してはいけない、そう言い続けました。

しかし、初めから結論ありきでした。小泉首相や外務省の頭には、アメリカを支持するしかない。まともな議論もせずにそう決めていました。それはあたかも米国が要求するTPPには参加するしかない、という野田政権の態度と同じです。

私は小泉首相に逆らったという理由で外務省から辞職を迫られました。2003年8月のことです。いまでも私の同期は外務省で活躍しています。駐米大使の藤崎一郎は同期です。この間まで外務事務次官をしていた谷内正太郎も、この前まで中国大使をしていた宮本雄二も、そして宮内庁で皇太子殿下のお世話をしている東宮大夫の小町恭士もみな1969年の春に外務省の門をくぐった同期です。なぜ私だけが8年も前に辞職しなければならなかったのか。その時の悔しさと不条理が私を鍛え、今日の私をつくってくれました。

その後私は在野にあつて日本外交がどうあるべきか、それを考え、学び、そして一つの結論を得ました。日本は対米従属と決別し、米国から自立しないかぎり国が滅びていく。これが私のたどりついた結論です。それを外交評論家、時事評論家として国民に訴える活動をしてきました。

私が外務省を去ってからの8年間は、見事に私の危惧するとおりの展開になりました。イラク情勢は悪化し、日本の外交官が犠牲になり、世界は混乱し、米国は衰退し、そして対米従属に終始した日本は行き詰まりました。ただでさえ苦しい日本がアメリカのために国民生活を犠牲にしてまで米国の軍事、経済を支え続ける。その行く末が普天間問題とTPPの混乱です。TPP問題は経済問題ではありますが、同時にそれは対米問題なのです。そもそも自由貿易を進めることは日本の国是であり、貿易立国の日本は米国のつくったGATT・IMF体制の恩恵を受けて経済発展をとげてきました。GATTはその後WTOとなって世界の貿易発展に貢献するはずでした。しかしどの国も経済的に困難になって保護貿易主義に走るようになりました。その最大の国が米国なのです。そもそもGATT・WTOの大原則は最恵国待遇をすべての加盟国に与えるという無差別の原則を尊重することでした。ところが米国はみずからつくったそのようなGATT・WTOを捨て、自分たちの仲間をつくり、そこで米国の思い通りにルールをつくらうとしようになりました。日本は、本来であればそのような米国のやり方は間違いだといってGATT・WTOに戻ろうというべきところを、米国主導のTPPが重要だと言いはじめました。対米従属以外の何物でもありません。TPPの下では米国は単に貿易だけではなく日本全体を米国の金融資本に開放するように求めてきます。そしてTPPは協定ですから違反すると訴訟に訴えてきます。日本はこれまで以上に米国の金融資本主義に社会を破壊されていくでしょう。

因みに米国がつくった戦後の世界経済体制のもう一つのIMFは、リーマンショック以降、世界経済を襲った金融破綻によって崩壊寸前に追い込まれていることをご承知のとおりです。基軸通貨としてのドルが揺らいでいるとともに、それにかわる基軸通貨が見つからないままに混迷の時代に入りました。

日本外交は何故ここまで対米従属なのか。それはやはり日本は米
国に敗れ占領されたからです。それともうひとつの大きな理由は、
米国が日本を占領した1945年当時は冷戦が始まり世界が資本主義か
共産主義かで対立した事があります。

結果的には米国の側についたほうが正しかったと私は思っていま
す。その意味で私は左翼ではありません。しかし冷戦が1989年に終
わり、もはや共産化の脅威がなくなった時点で、日本は自立する努
力をすべきだったのです。政治家も官僚もその努力を怠り、安易に
米国についていけばよいと考えて今日に至りました。そしてますま
す日本の対米従属がひどくなっていきました。

政権交代が起こり自民政権から民主党政権になってもますます
対米従属になっていったことは深刻です。そもそも自民党という政
党は共産主義に対抗して自由と民主主義を守る事を党是としてでき
た政党ですから日米同盟を重視し、対米従属になることは当然です。
しかしその自民党の政策によって日本が行き詰まり、日本を変える
と宣言して国民に政権交代を与えられた民主党が自民党以上に対米
従属になってしまった。これは深刻です。

冷戦後の20年以上が経ち、世界も米国も大きく変わりました。し
かし日本の対米従属政策だけは化石のように変わりません。米国の
国力が相対的に弱くなり、それを補うかのように米国の軍事的強攻
策が目立つようになりました。それでも日米同盟は深化させていく
という。そんな馬鹿なことはないのにメディアも世論もそのことに
疑問を抱きません。さすがの私もこれではだめだ、とあきらめかけ
ていた時に津波が来て原発事故が起こりました。そしてこの原発事
故によって、これまで正しいと思込まされてきた原発政策の矛盾
とウソが次々と明らかにされていきました。私は原発政策の推進と
日米同盟の絶対視とは共通性がある、つまり皆が正しいと思込ま
されてきたことが実はとんでもない誤りであった。その意味で、脱
原発は脱日米同盟に繋がるのではないかと期待したのですが、残念
ながらあれほどの原発事故が起こったと言うのに、脱原発は進みま
せん。これでは日米同盟絶対視の政策は変わりそうもありません。

私はそこで考え方を変えました。いくら言論で正しい事を言っ
ても政治はかわらない。政権が変わっても同じだ。これからどんな政
党が政権をとっても変わらないだろう。それならば行動で示す事
によって国民に気づかせる。そう考えて、ひとつのプロジェクトを始
めました。具体的には福島の子を放射線被ばくから助けるための
疎開を実現するという事です。

政府も地方自治体も、原発事故を収束させるために除染をはじめ、
福島を再生させようと思っています。それが悪いとはいいません。
しかし除染は時間がかかるし、放射線量は簡単にはなりません。
その間に子どもたちや母親の被ばくは確実に進み、皆が不安な中
で生活を強いられています。少なくとも希望する母子だけでも、安心
できる場所を提供して、そこで人生を再出発させなければなりません。
それは本来は政府の仕事ですが政府はそれをやろうとはしません。
そこで全国の地方自治体の首長に呼びかけて、福島の子を受け
入れて助けようと訴えることにしました。国が出来ない事を地方
とその住民が行なう。その事によって地方から日本の政治を変える。
それが私のやろうとしていることです。

そしてこの試みは、もうひとつの大きな目的があります。それは
このまま行けば、世界経済は破綻し、日本経済も破綻し、そして国
民は増税と年金制度や保険制度の崩壊で生活できなくなります。政

府は有効な手をおそらく打てないでしょう。そこで私たちは私たち
の手で皆が助け合って生きる社会を作っていかなければならない。
それを地方から始めようと私は考えるのです。そしてその私の考え
が正しい事を、私は最近ある本を読んで確信しました。最後にこの
本を紹介して私の話を終えたいと思います。

その本は「ファイナル クラッシュ」(朝日新聞出版)という本
です。タイトルから推測できるように、この本は世界経済が破綻す
ると予言している本です。最近では本屋に行けばこのような危機を煽
る本がやたらに積まれています。この本はそれらの本とは違って
一読に値する本です。著者は世界のユダヤ金融資本を動かしている
ファンドマネージャーで、彼自身もまたユダヤ人です。その著者が
2007年に、世界の主要な金融業界の者にあてて書いた自費出版の本
を出しました。もちろんそれを知っている日本人は一人もいません。
そしてその本が、その後のリーマンショックや今日のギリシャをは
じめとした欧州の金融危機を見事に予言していたことでその本が金
融関係者の間で大きな話題になっているというのです。

なぜそんな本が日本で出版されたのか。それはこの本を見つけた
日本人がいたからです。その日本人が、これはなんとしても日本に
紹介しなければならぬと思つて翻訳し、そして「ファイナル ク
ラッシュ」(朝日新聞出版)という形で訳本を出版したのです。

そしてここから私しか話せない事ですが、その日本人とは、私と
高校、大学を一緒にすごした同級生の石角完壘という人物なのです。
彼は、かつては私と仲が良かったのですが価値観の違いから疎遠に
なりました。彼は国際司法弁護士となり、いまでは世界の企業の買
収・合併を手がける大金持ちです。そしてついに数年前に日本人で
はじめてユダヤ教の試験を受けて合格しユダヤ人になりました。つ
まり彼はもはや日本人ではなくユダヤ人なのです。だから彼は日本
人が入り込めないユダヤ金融資本主義のインナーサークルに入り、
そして日本人が接する事のないこの本の原書を見つけたのです。

これを書いたユダヤ人はこう断言しています。近いうちに金融資
本主義が崩壊し、世界は混乱する。今度の金融破綻は元に戻れない
という意味で文字通り最後の破綻(ファイナル クラッシュ)とな
る。だから生き方を変えなくてははいけない。お金がなくても幸せに
生きられるような共生社会を目指さなければならない、と彼は言っ
ているのです。

そして石角氏もまたそれに同意し、共感したため、それを翻訳し
て一人でも多くの日本人に知らせようとしたのです。

私が福島の子を疎開させて新しいコミュニティーを地方から立
ち上げようとしているのもまさしくこの考え方に基づいたものです。
なんという偶然でしょうか。

というわけでこの「ファイナル クラッシュ」という本を紹介さ
せていただいたところで時間が来ましたので私の話を終わらせてい
ただきたいと思います。

今日は時間が30分と短かったので急いで取り留めのない話をして
しまいましたが、これを機会に今後とも神奈川東ロータリークラブ
の皆様とは、よりよい日本を作っていくことでまたお話をさせてい
ただく機会があると思います。そして私の目指す「もうひとつの日
本」について一緒に力を合わせることになるかもしれないと期待し
ています。

ありがとうございました。

2590地区主催「植樹式」参加

新世代奉仕委員会 委員長 白鳥 厚夫

本牧頂上公園内「植樹式」に、天野幹事と私白鳥が11月12日(土)出席致しました。

我々ロータリアンは、18歳から30歳までのローターアクトーと共に(参加者約100名)ローターアクトー達のさわやかな指導の元、急傾斜地の芝生・雑草をはがし、さるすべり1本+ツツジ100本を植樹しました。

また神奈川東ロータリークラブのプレートをツツジにくくりつけました。

江森さんの作成したプレートは携帯電話から読み取れるバーコード付きで、評判が良かったです。

テーマは「心をひとつに」という事でローターアクトーが30歳で卒業しても同じ気持ちを持ち続けて貰いたい、ローターアクトーが発信源となり我々ロータリーファミリーを盛り上げたい、そしてもっとロータリー62クラブとインターアクト19、rotex、ロータリーに関係する人々全ての心をひとつになるきっかけを作りたいという願いから企画されました。またツツジは、川崎のシンボルの木でツツジの苗木を横浜に植えるという事で、川崎と横浜の2590地区ロータリーが「心をひとつに」となるという意味も含んでいるそうです。

神奈川東ロータリークラブの皆様も以上のような想いを抱きながら、好きな方と一緒に横浜港を一望に見下せる本牧頂上公園へ、おむすびでも持ってお出かけになり、神奈川東ロータリークラブのプレート(真ん中サルスベリの近く)を探して見てはいかがでしょうか？



クラブ会員の広場

今年もボジョレー・ヌーヴォーの季節がやってきました。毎年解禁の日を心待ちにしている会員の方々も多いのではないのでしょうか。ワインファンにとってはたまらない秋の楽しみはこれ・・・。

ということで、今回ワイン通の長井章会員よりメールを頂きました。思わず喉から手が出る美味しい話を紹介させていただきます。

ローランペリエのガラディナーがあったので、久々に参加してきました。

ワインは、蔵出しを含めて5種類

L. P millesime 1999 servi en magnum

Cuvee rose Brut

Cuvee Grand Siecle servie en aiguiere

Cuvee Alexandra Rose 1998

Millesime 1988 servi en magnum

娘さんの名前を冠した「アレキサンドラ ロゼ」と「ミレジメ1988mug」は今回の為に、特別に蔵出しされたもので、個人での入手は困難な逸品です。上記の順番で料理に合わせて一順し、デザートにロゼ ブリュットをもう一度というまさに、泡三昧でした。

「アレキサンドラ ロゼ」はグラン・クリュによって栽培されたピノ・ノワールを漬け込むことによって鮮やかに色づいたピンク色の美しいシャンパン。熟した赤い果実のアロマと口いっぱいフルーティーな味覚が広がります。



「ミレジメ1988mug」は、秀逸な年にしか発売されない、ヴィンテージ シャンパンです。「フレッシュさ」「エレガントさ」「バランスの良さ」という同社のスタイルを基本に、その年のぶどうの特徴を最大限引き出しています。23年の熟成を経て蘇ります。





「グラン・シエクル」はグランクリュ畑からの葡萄のみ、かつ秀逸なヴィンテージから3年を選びブレンドし、L・P社がシャンパン造りに対して理想とする「フレッシュ」で、「エレガント」で「バランスのよい」シャンパンの究極の姿を実現しています。

ブレンドによる微妙なニュアンスと、洗練でありながら、力強さのあるプレステージキュヴェ。シャルドネとピノ・ノワールを約半分ずつ使用。シャルドネ種は半分よりやや多いが詳細は非公開で瓶熟は最低60ヶ月を要し送りだされます。

Menuは、鴨のフォアグラのポアレと無花果 ライムのシャンテリースライスに包まれた真鯛 クリーミーな薩摩芋とみかん風味のヴィエルジュオイルオマールのローストを人参と共に香り豊かなブースをあしらってプレス産プーラルドの胸肉を栗風味で、髄肉の小さいパテに白トリュフを塗してブリー・ド・モーと胡桃ピスタチオ風味のクリーム ヴェルヴェーヌとフランボワーズカフェとショコラ今回も、大変美味しく頂きました。

シェフのティエリー ボアザンは、ボワイエ時代からのファンなのですが最近では、日本人向けなのか料理のボリュームが少し小振りになったような気がします。

写真を付けておきます。味はしませんが、お楽しみください・・・

いかがでしたか？十分に堪能頂けたかと思ます。それでは皆様も、秋の夜長、ワインを片手に素敵な夜をお過ごし下さい。

《クラブ会報委員会》

次回《11月25日》の卓話予定
 会員卓話 テーマ「最近思うこと」
 卓話者 梅崎 興生 会員

例会4回

10月度出席報告

名誉会員			出席率算除外会員			出席規定免除会員					
会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	100	100	金森 欣一	100	50	友添 辰哉	100	50	吉田 隆男	75	50
赤堀 和人	175	100	川邊 正男	150	100	長井 章	125	100	吉橋佐千男	0	0
朝日 達夫	125	75	小池 将夫	125	75	中村 真巳	0	0	我妻 隆邦	25	25
天野 公史	175	100	河野 明光	100	100	西山 潔	150	75	脇田いすゞ	125	100
雨宮 和則	75	0	小山 市康	150	100	藤橋恒一郎	125	100	渡邊 淳	125	100
飯田 泰之	125	75	佐藤 勝彦	100	75	布施 是清	100	75	富居 利貞	25	0
伊澤 政宏	125	100	澁谷 高弘	75	75	茂木 知子	100	75			
石川 正三	50	50	白井 康夫	100	75	森永 健	100	100			
伊東 英紀	125	75	白鳥 厚夫	175	100	矢野 修二	125	75			
岩澤 利雄	75	75	須永 久一	125	75	山木 幹夫	75	75			
植田 清司	150	100	高田 修	150	50	山崎 善也	50	50			
梅崎 興生	100	100	田口健太郎	100	100	山田 富雄	125	100			
江森 国一	100	75	竹山 洋	100	25	山田 正憲	150	75			
鴻 義久	75	50	田中龍太郎	175	100	山本 登	100	75			
大西 弘文	100	100	田邊 正彦	100	75	山本 芳弘	125	100			
大橋 秀行	25	25	月山 勇	125	100	横溝 亘	100	75			
加藤 仁昭	150	100	角田 伯雄	100	75	横山 範夫	125	100			
月平均 96.20%											